

# 令和 4年度予算見積調書

課室名: 情報システム戦略課

担当名: 県民サービス・システム共同化担当

内線: 2284

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B21	県民サービスプラットフォーム整備事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費		
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし				針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9, 11
							分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-1, 11-1
1 事業概要				5 事業説明						
<p>県民の行政への関心や理解を高めるとともに、行政サービスの利用や政策への県民参加を促進していくためにICTを活用して、県民一人一人に最適な行政情報をプッシュ型でタイムリーに提供するサービス基盤「県民サービスプラットフォーム」を整備する。</p> <p>(1) 県民サービスプラットフォーム保守・運用 104,342千円                      (2) 県民サービスプラットフォーム機能改修 9,106千円                      (3) 行政サービスアプリの再構築 43,360千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県民サービスプラットフォーム保守・運用 104,342千円                      イ 県民サービスプラットフォーム機能改修 9,106千円                      ウ 行政サービスアプリの再構築 43,360千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 令和3年度: 安定運用、利用者拡大施策                      ・行政サービスアプリを安定的に運用できるよう維持管理を行う。                      ・データ解析事業の結果を踏まえ各事業課及び市町村等と調整を行い最適化計画を具体化させる。</p> <p>イ 令和3年度: 機能改修、利用者拡大施策                      ・運用に伴い課題となっている機能について改修を行う。                      ・行政サービスアプリの利用者拡大に向けた、県民及び各事業課及び団体への働きかけを行う。</p> <p>ウ 令和4年度: まいたまアプリの再構築                      ・LINEバンダーの自治体向けサービスで無償提供されるプログラムを活用し、LINEの県公式アカウント内に再構築</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア これまで県政情報を受け取る機会のなかった県民が行政サービスを認知し、必要とする行政サービスを活用できるようになる。                      イ 平常時の身近な防災情報を提供するとともに、災害発生時にも県民のニーズに合わせた非常時情報を活用できるようになる。                      ウ 県民が使い慣れたLINEを活用したサービス提供による利便性向上                      安定した基盤と基本的な機能を確保し、削減分の費用及び職員のマンパワーをより実効性ある県民サービス向上にシフトさせることで、DXを推進する。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額	156,808							156,808	12,902	
決定額	156,808							156,808	12,902	
前年額	143,906							143,906		